

町営住宅への入居者を募集します

☎ 復興課 住宅係 ☎ 282-1701

■入居資格

- ①住宅に困窮している人
- ②収入基準に該当する人（一般階層世帯は月額158,000円以下、裁量階層世帯（小学校就学前の子供のいる世帯）は月額214,000円以下）
- ③現在、同居しているか、同居しようとする親族がある人
※単身入居の方は別途基準がありますので、個別にご相談ください。
- ④税金等を滞納していない人
- ⑤暴力団関係者でないこと

■受付期間／時間

8月26日（月）～8月30日（金）まで
8時30分～17時

【入居団地】※入居予定は令和元年10月中旬以降となります。

▼中原団地（辺田見）：8戸



●中原団地については、共益費3,000円、駐車場を利用される場合は駐車場代1,000円（1台1ヵ月あたり）が加算されます。

▼玉虫団地（滝尾）：1戸



●玉虫団地については、汲み取り式トイレのお部屋です。給湯器、風呂釜、テレビアンテナ等は入居後、入居者の方に整備していただくことになります。

▼七滝団地：1戸



●七滝団地については、汲み取り式トイレのお部屋です。給湯器、風呂釜、テレビアンテナ等は入居後、入居者の方に整備していただくことになります。

町営住宅への入居希望者は、受付期間内に申込書と下記の必要書類を添付し、役場復興課住宅係まで提出してください。※申込書は同係に用意してあります。

■必要添付書類

- ①入居予定者全員の住民票謄本
- ②入居予定者全員の最新の所得証明書
- ③入居予定者全員の未納の無いことの証明（納税証明）
- ④現在婚約中で、入居後に結婚予定のものは、婚約証明書（証明者は婉酌人で可）
※証明用紙は復興課にあります。
- ⑤入居予定者で生活保護を受けているものは、生活保護受給証明書
- ⑥入居予定者（世帯主本人）で、寡婦又は寡夫に該当するものがあれば、戸籍抄本
- ⑦障害者（1～6級）であれば、障害者手帳の写し
※その他、必要な書類がある場合は、その都度請求します。

全国瞬時警報システム（Ｊアラート）全国一斉情報伝達試験を実施します

☎ 総務課 地域・防災係 ☎ 282-1111

Ｊアラート Q & A

Ｑ ① Ｊアラートとは

A. Ｊアラート（全国瞬時警報システム）とは、弾道ミサイルに関する情報や緊急気象警報などの情報を、人工衛星や地上回線を通じて、全国の市町村等に送信し、防災行政無線などで瞬時に住民に伝達するシステムのこと。

Ｑ ② どんなときにＪアラートが使用されるのか

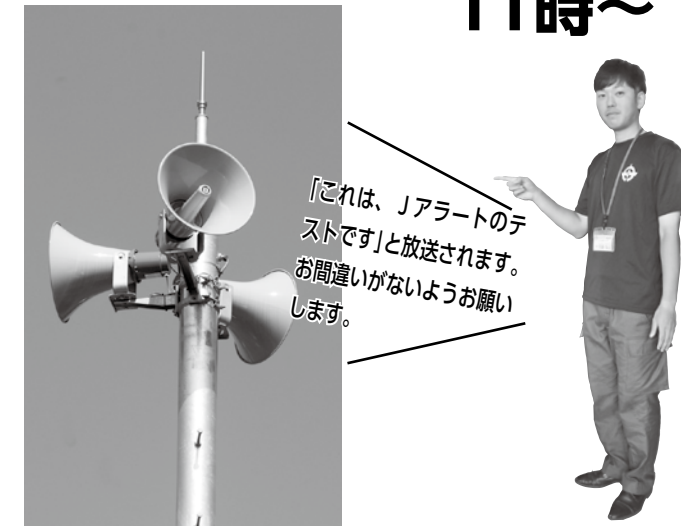
A. 弾道ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性または、領土・領海を通過する可能性がある場合に使用します。

Ｑ ③ 実際、どのように情報伝達が行われるのか

A. 政府からＪアラートにより情報伝達があった場合は、市町村の防災行政無線等が自動的に起動し、屋外スピーカー等から警報が流れるほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されます。

全国瞬時警報システム（Ｊアラート）による防災行政無線での情報伝達訓練を下記の日程にて行います。

◆日時 8月28日（水）
11時～



「これは、Ｊアラートのテストです」と放送されます。お間違いないようお願いします。

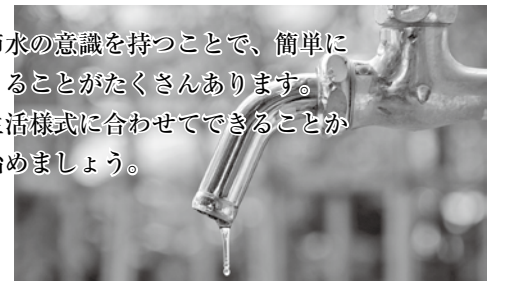
みんなで節水を心がけて、熊本の天然地下水を守りましょう！

☎ 環境保全課 水道係 ☎ 282-0472

私たちは1日にどれくらい水を使っているのでしょうか？水に恵まれた熊本に暮らしていると、水のありがたさをつい忘れがちです。しかし、近年、一部では地下水の水位低下や湧水量の減少など、将来の水利用が危ぶまれる状況も見られています。

私たちが、これからも豊かな水の恩恵を受け続けるためには、水を大切に使うことが必要です。できることから実践して、一人1日マイナス15リットルの節水に取り組んでみましょう。

節水の意識を持つことで、簡単にできることがたくさんあります。生活様式に合わせてできることから始めましょう。



■入居者の決定

入居資格①～⑤に該当する申込者を審査し、公開抽選で決定します。

※令和元年7月31日現在の入居可能戸数のため、変更になる場合もあります。

「ミフネリュウから始める恐竜学入門」～町恐竜博物館特別展開催記念講演会を開催します

☎ 町恐竜博物館課 ☎ 282-4051

- 日時 9月8日（日）13時30分開場 14時～15時30分
- 場所 町カルチャーセンター ホール
- 参加費 無料
- 申込み期限 9月8日（日）まで（先着順で受付）
- 申込み方法 ホームページの申し込みフォーム、eメール、電話、ファックス、来館、ハガキ

特別展の開催を記念し、日本の恐竜化石研究の第一人者、国立科学博物館の真鍋真博士を招き、各地の話題を提供します。最近の恐竜学の動向や今後の日本の恐竜化石研究の展望について、皆さんと共に考えてみましょう。